

うつくしまふくしま未来支援センター一定例研究会のお知らせ

福島大学は地元の国立大学として、

- ・避難者・被災者へのボランティア支援
- ・放射性物質による汚染地域での放射線量計測
- ・農畜水産物の実害調査
- ・復興計画・除染計画などの策定支援
- ・産業経済振興支援

など、福島県や市町村、各種団体、NPOなどと連携しながら行っています。

こうした支援・連携活動をさらに進めるとともに、長期にわたる復旧・復興への支援に組織的に対応するため、平成23年4月13日に「[うつくしまふくしま未来支援センター](#)」を立ち上げました。

このたび、[復興支援のための研究を相互に深め合うことを目的として、定期研究会を下記の通り開催することといたしました](#)のでお知らせいたします。

この定期研究会を通じて、当センターの活動を深めていきたいと考えています。興味・関心のある方は、奮ってご参加ください。（[学生参加も歓迎します。](#)）

うつくしまふくしま未来支援センター一定例研究会（第13回）

日 時 平成25年**7月17日（水）**
15時00分～17時00分頃

会 場 **S-11教室**

発 表 福島原発事故と私、そして稲の試験栽培（案）
野川 憲夫
（農業復興支援担当（農業復興支援コーディネーター））

東日本大震災後の一次産業をめぐる所有論・コ
モンズ論の論点
林 薫平
（経済経営学類（食農教育分野担当））

※ [次回研究会は10月に開催予定](#)です。
お問い合わせは fure@adb.fukushima-u.ac.jp まで。